

信幸プロテック株式会社 環境レポート 2018

Shinko Protec Environmental Report



対象期間 平成30年5月～平成31年4月

発行年月日 2019年8月26日

目 次

- 1 挨拶
- 2 環境方針
- 3 事業概要・認証登録範囲
- 4 実施体制
- 5 環境目標
- 6 環境目標の実績・評価
- 7 2018年度 環境活動計画
- 8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容
- 9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反
訴訟の有無
- 10 代表者による全体評価と見直しの結果**

1 挨拶

エコアクション21の取り組みも4年目となり、我が社の中で取組を続けること、意識を続けることが日常のこととして定着しました。部門長や委員会メンバーを主軸として全員で活動してきた成果として喜ばしく思っています。

通常は中だるみが出てくる時期ですが、「水と空気とエネルギーを科学するエンジニアリング集団」を標榜する我が社では、太陽光発電設備の導入や薪ストーブの導入、高効率設備への入替営業活動など様々な側面から活動を推進することが出来ています。

まだまだ削減・改善できる部分はあるかと思いますが、今後も省エネ・小エネ・創エネの視点を忘れず、フロン排出抑制法への対応・周知など法律遵守も含め、自社だけでなく「関わるお客様全体に対してのエコアクション」の大きな視点で環境活動をすすめていきたいと考えております。

代表取締役 村松 守

2 環境方針

「私たちの手でかけがえのない地球を守りたい」

《環境理念》

私たちは冷凍設備と産業設備に関わり、エネルギーを取り扱う者の使命として、省エネルギー設備の提案と事業活動のあらゆる分野で環境を守る行動に努め、地域の産業と人々の暮らしの役に立ち、なくてはならない存在となります。

全社員が「私たちは省エネルギー活動で地球を守り続けていきたい！」との信念を掲げ努力と貢献を続けます。

《行動指針》

1. 温暖化ガス排出量の削減と省エネルギー活動の推進
 - ・燃費改善に全員で努めます
 - ・電力使用量の削減に努めます
 - ・高効率機への更新提案で省エネルギー化の促進に努めます
2. 排水量の削減
 - ・節水を心がけ最適消費で水資源を有効に使います
3. 廃棄物の削減と循環型社会を目指します
 - ・廃棄物の削減、再使用、再生利用を常に考え行動します
4. 事業活動で取り扱うフロンガスおよび臭化リチウムについて、回収の推進を図ると共に適正処理に努めます
5. 事業活動を取り巻く環境関連の法規制を順守します
6. エコアクション21ガイドラインに従って運営し、全社員及び社会に約束し、活動結果を公開します。
 - ・常に整理整頓、再資源化・再利用を行い、廃棄物の削減に努めます
 - ・社内活動「エコアクション」への社員全員参加を呼びかけ、社内整備・改善に努めます

制定年月日:平成24年7月1日

3 事業概要・認証登録範囲

1 名称及び代表者名

信幸プロテック株式会社
代表取締役 村松 守

2 所在地

本社 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第8地割5番地1

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境責任者 サービス部(環境委員長) 久保 翔
担当者 経営管理部 照井 りえ
TEL 019-697-7200 E-mail info@srs.co.jp

4 事業活動の内容

空調設備/産業設備(照明・給排水設備等)施工・保守・修理
フロンガス・吸収液(臭化リチウム)回収処理
食品・飼料工場車輻消毒設備施工

5 事業規模

資本金 10百万
製品出荷額(又は、販売額) 6.4億円
工事件数 件
従業員 35名
延べ床面積 212.5㎡

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全事業活動が認証登録範囲
産業廃棄物の収集運搬業は自社排出分のみ

7 事業経歴・営業範囲

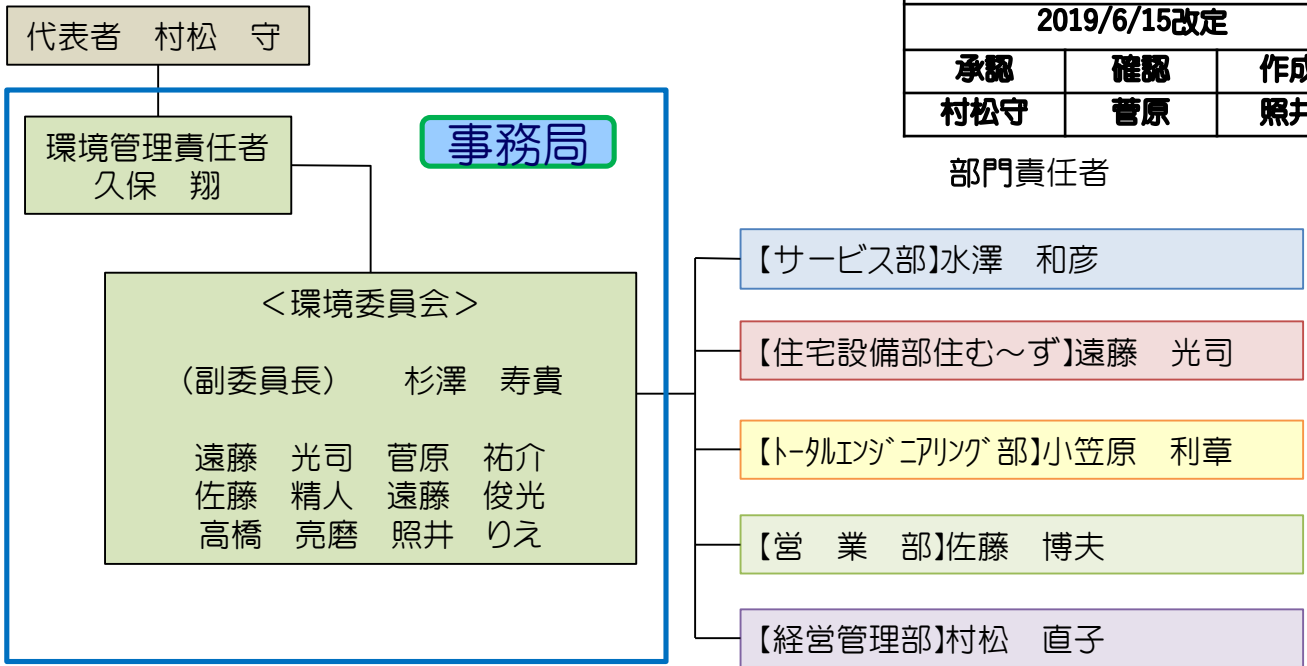
■事業経歴

昭和62年 創業(有限会社 信幸冷熱サービス)
平成19年 信幸プロテック 株式会社に社名変更
平成27年 事業承継 常務取締役 村松守が代表取締役就任
(村松 幸雄は取締役会長就任)

■営業範囲 岩手県内全域

4 実施体制

| | | |
|--------------|----|----|
| 2011/7/1作成 | | |
| 2017/10/24改定 | | |
| 2019/6/15改定 | | |
| 承認 | 確認 | 作成 |
| 村松守 | 菅原 | 照井 |



部門責任者

責任者の役割

代表者 村松 守

- 環境管理責任者の任命
- 環境保全に関する人員、設備、資金の設定
- 環境方針の設定及び従業員への周知
- エコアクションシステムの見直し

環境管理責任者

- エコアクション21 活動責任者
- 進捗管理及び環境活動結果の報告

事務局(環境委員会)

- 環境目標、計画の作成
- エコアクション21 活動推進
- データ収集、分析、整理
- システム運用上の事務管理
- レポートの作成、公開

部門責任者

- 環境活動の実施
- 各人員への支持、管理

5 環境目標

| コア指標 | 環境方針 | 環境目標項目 | 責任者 | 削減率又は増加率(%) | 基準年度(2015年度) | 年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率) (目標値) | | |
|-----------|-------------|---------------------|--------|-------------------|--------------|---------------------------------|--------|--------|
| | | | | 単位 | 基準値 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
| 二酸化炭素排出量 | 二酸化炭素排出量の削減 | 電力のCO2排出量の削減 | 佐藤 精人 | 削減率(%) | | 3 | 3 | 3 |
| | | | | kgCO ₂ | 7,510 | 7,285 | 7,285 | 7,285 |
| | | 自動車燃費UP | 遠藤 俊光 | 削減率(%) | | 3 | 4 | 4 |
| | | | | Km/L | 10.6 | 10.9 | 11.0 | 11.0 |
| | | | | 削減率(%) | | 3 | 3 | 3 |
| 灯油のCO2の削減 | | kgCO ₂ | 5,766 | 5,593 | 5,593 | 5,593 | | |
| 廃棄物排出量 | 廃棄物の削減 | 一般廃棄物の削減 | 遠藤 俊光 | 削減率(%) | | 1 | 2 | 3 |
| | | | | kg | 11,136 | 6,851 | 6,782 | 6,712 |
| | | 産業廃棄物の削減 | | 削減率(%) | | 1 | 2 | 3 |
| | | | | kg | 5,160 | 5,108 | 5,006 | 4,856 |
| 総排水量 | 節水 | 節水 | | 削減率(%) | | 1 | 0 | 0 |
| 総物質生産量 | 環境配慮製品の販売 | 環境配慮工事 | | m ³ | 219 | 217 | 219 | 219 |
| | | | | 増加率(%) | | 10 | 20 | 30 |
| グリーン調達 | | 事務用品・消耗品 | 松下 花奈子 | Kw | 1,260 | 1,387 | 1,513 | 1,639 |
| | | | | 増加率(%) | | | | |
| 社員教育 | | EA21取組み教育 緊急事態訓練 | 全員 | 50% | なし | 50.0% | 50.0% | 50.0% |
| | | | | 回 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 地域貢献 | | 地域イベント参加 | 全員 | 回 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | | 地域清掃 | 全員 | 回 | 2 | 2 | 2 | 2 |

6 環境目標の実績・評価

今回は、平成29年5月から平成30年度4月までの実績についての評価結果を報告いたします。

環境目標の達成状況等

| 項目 | 単位 | 基準年 | 削減(増加)率(%) | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 当該年度 | |
|-------------------|--------------------|--------|------------|--------|--------|-------|-------|--------------|
| | | 実績値 | | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | |
| 1、電力の二酸化炭素 | kg-CO ₂ | 7,510 | 3%削減 | 6,535 | 7,127 | 9,442 | 7,285 | 8,388 |
| 2、自動車燃費率UP | Km/L | 10.6 | 3%増加 | 10.6 | 10.9 | 10.75 | 11.0 | 10.8 |
| 3、灯油のCO2削減 | kgCO ₂ | 5,766 | 3%削減 | 5,766 | 6,274 | 5,790 | 5,593 | 4,062 |
| 4、一般廃棄物 | kg | 11,136 | 1%削減 | 11,136 | 12,700 | 6,574 | 6,712 | 6,800 |
| 5、産業廃棄物 | kg | 5,160 | 1%削減 | 2,230 | 1,560 | 4,284 | 4,856 | 3,710 |
| 6、総排水量(節水) | m ³ | 219 | 1%削減 | 219 | 215 | 180 | 219 | 179 |
| 7、環境配慮製品・商品の製造・販売 | Kw | 1,260 | 10%増加 | 1,260 | 2324 | 2,573 | 1,639 | 2,793 |

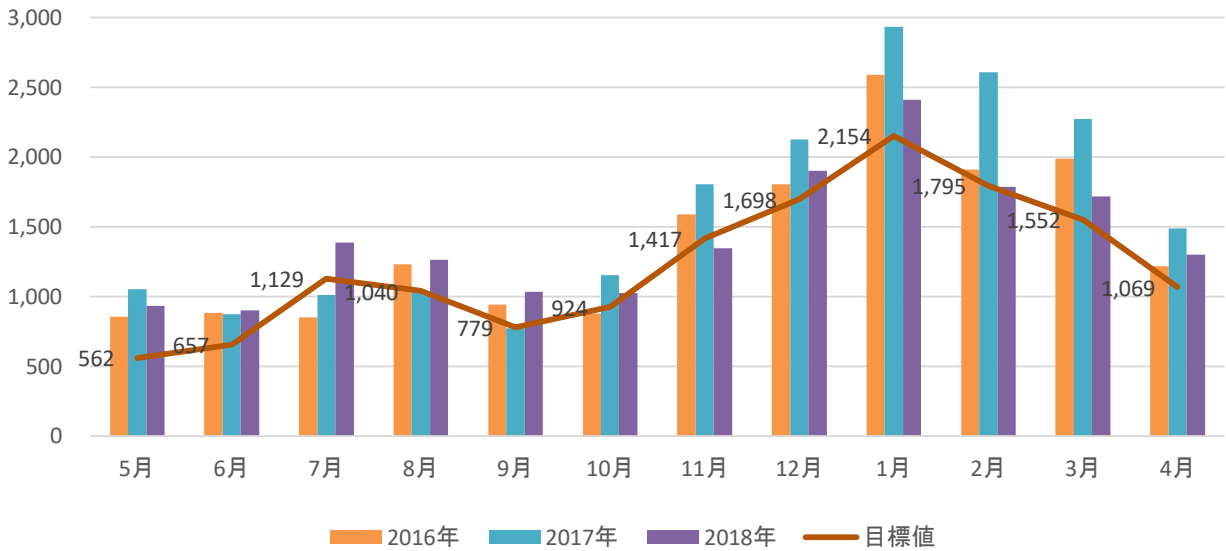
7 年度 環境活動計画

| | |
|---|--|
| <p>電力による二酸化炭素削減</p> <p>基準年度実績 15,233 kWh</p> <p>2015 年 7,510 kg-CO₂</p> <p>酸化炭素排出係数: 0.493 kg-CO₂/kWh</p> <p>2018 年度目標</p> <p>基準年度比 97%</p> <p>削減率 -3.0%</p> <p>目標値 7,285 kg-CO₂</p> <p>14776 kWh</p> | <p>担当: 佐々木 勇人・山田 貴博</p> <p>看板照明を20時OFF、夏場OFF</p> <p>待機電力カット(シーズンオフ時エアコン、退席時PC電源OFF)</p> <p>太陽光発電(4.8kw)による電力使用量抑制(余剰売電)</p> <p>夏場の温水洗浄便座の節電</p> <p>薪ストーブの暖房利用(暖房器の電力抑制)</p> <p>看板照明を20時OFF、夏場OFF</p> <p>洗面所の凍結防止ヒーター夏場OFF</p> |
| <p>燃料・燃費</p> <p>灯油 2,314 ℓ</p> <p>ガソリン 18,432 ℓ</p> <p>軽油 22,100 ℓ</p> <p>#REF! Kg-CO₂</p> <p>基準年度比 97%</p> <p>使用する二酸化炭素排出係数:</p> <p>灯油 2.49193</p> <p>ガソリン 2.32166</p> <p>軽油 2.32166</p> <p>2015年 燃費率 109 km/L</p> <p>2018 年度目標</p> <p>基準年度比 101%</p> <p>削減率 1%</p> <p>目標値 11.0 km/L</p> | <p>担当: 菅原 祐介・久保 翔</p> <p>★エコドライブの徹底</p> <p>★急発進・急停車・アイドリング等しない・高速道路100km以下</p> <p>★タイヤの交換時期になったらエコタイヤへ</p> <p>★タイヤの空気圧チェック</p> <p>★燃費改善率を毎月担当ドライバーがチェックシートに入力・年間の優良者を表彰</p> <p>★車両日報チェック</p> <p>★エコランプのついてる車両はランプが点灯してるか確認する</p> |
| <p>一般廃棄物の削減</p> <p>基準年度実績</p> <p>2015 年 11,136 kg</p> <p>2018 年度目標</p> <p>基準年度比 99%</p> <p>削減率 -1%</p> <p>目標値 11,025 kg</p> | <p>担当: 村松 直子・松下 花奈子</p> <p>★ガラ置き場・ダンボール・擦えるゴミ置き場の整理</p> <p>★ゴミ箱にOA用紙を捨てない(社外秘書類・古紙の分類)</p> <p>★PCFAXの積極活用</p> <p>★再生紙の活用、整理整頓による紙のリサイクル推進</p> <p>★書類PDF化の推進</p> <p>★会議資料や画面をみですむものは印刷しないで携帯へ飛ばす</p> <p>★販売促進(広告チラシ・指針所)などは除く</p> |
| <p>廃棄物(廃プラスチック)の削減</p> <p>基準年度実績</p> <p>2015 年 2,905 kg</p> <p>2018 年度目標</p> <p>基準年度比 99%</p> <p>削減率 -1%</p> <p>目標値 2,876 kg</p> | <p>担当: 見波 浩・杉澤 寿貴</p> <p>★倉庫整備を強化し、在庫管理の改善</p> <p>★わかりやすい在庫管理・ムダな購入をしない</p> <p>★ゴミ置き場整備</p> |
| <p>水道水の削減</p> <p>基準年度実績</p> <p>2015 年 219 m³</p> <p>2018 年度目標</p> <p>基準年度比 100%</p> <p>削減率 0%</p> <p>目標値 219 m³</p> | <p>担当: 川口 一樹</p> <p>★童手の洗濯回数減らす</p> <p>【フロント】一定量溜ったら洗濯するルール</p> <p>★節水を心がける</p> <p>★井戸水の利用</p> <p>★トイレ入れ替えに伴う経過観察</p> |
| <p>環境に配慮した工事の推進</p> <p>基準年度実績</p> <p>2015 年 2,729.2 kw</p> <p>2018 年度目標</p> | <p>担当: 佐藤 博夫・佐藤 精人</p> <p>★高効率機器への入替を積極的に提案し、お客様設備の省エネ化促進</p> <p>★太陽光発電設備工事・申請業務の積極推進、PR活動</p> <p>★ブロンガス回収(入替含む回収量)</p> |

1

電力削減

電力



★取組項目

待機電力カット(シーズンオフ時エアコン、退席時PC電源OFF)
太陽光発電(4.8kw)による電力使用量抑制(余剰売電)
夏場の温水洗浄便座の節電
薪ストーブの暖房利用(暖房器の電力抑制)
看板照明を20時OFF、夏場OFF
洗面所の凍結防止ヒーター夏場OFF

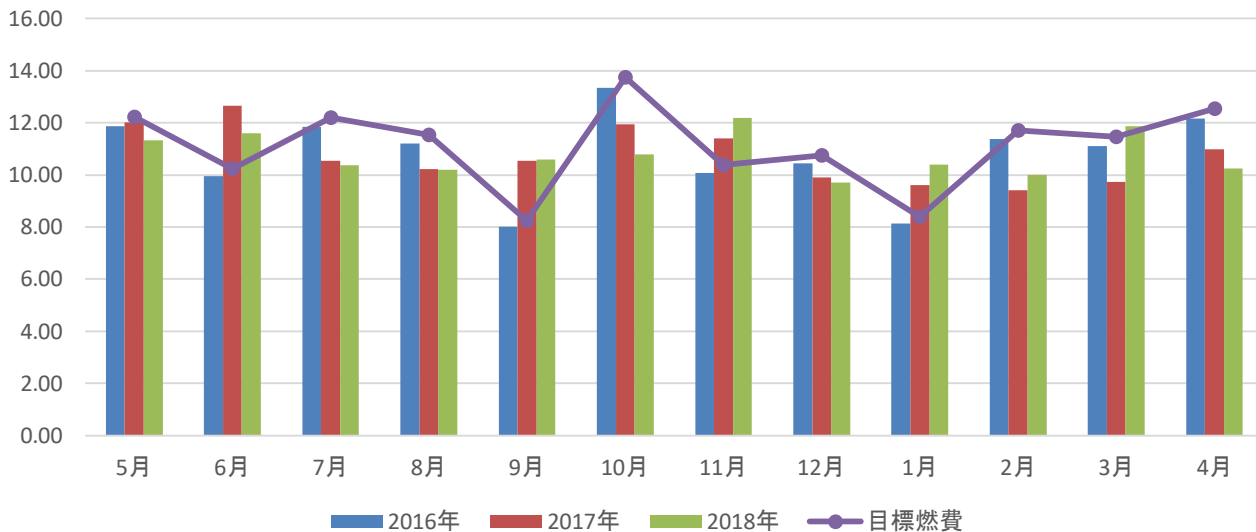
★評価「×」

目標を達成できなかった。昨年度は暖房時のエアコン使用による时期的な電力消費量の増加が見られたが、今年度は時期に関係無く増加が見られるので各系統の使用状況を再確認する必要がある。また、事務所や倉庫の照明消し忘れが度々見られるので、身近で簡単にできることを社内で再周知する。

★社内各所に節電の呼びかけを掲示



自動車の燃費率 (Km/L)



★取組項目

エコドライブの徹底

(急発進・急停車・アイドリング等しない・高速道路100km以下)

タイヤの交換時期になったらエコタイヤへ

シーズン用のタイヤを履く(履きつぶしNG)

タイヤの空気圧チェック

燃費改善率を毎月担当ドライバーがチェックシートに入力

年間の優良者を表彰

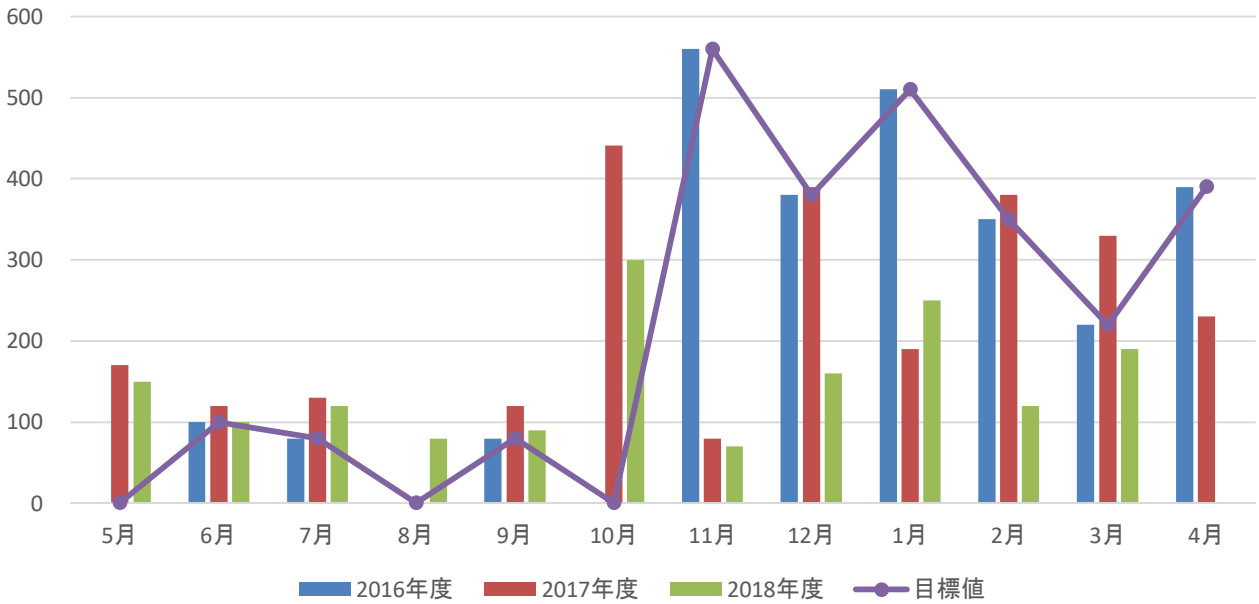
★評価「×」

燃費に関しては目標を達成できなかった。ただし、目標に近い数値なので現在の活動を維持しつつ、エコドライブやタイヤ交換時期など車両管理者に燃費改善を常に意識してもらうようにする。

★2018年度燃費表彰



灯油の削減

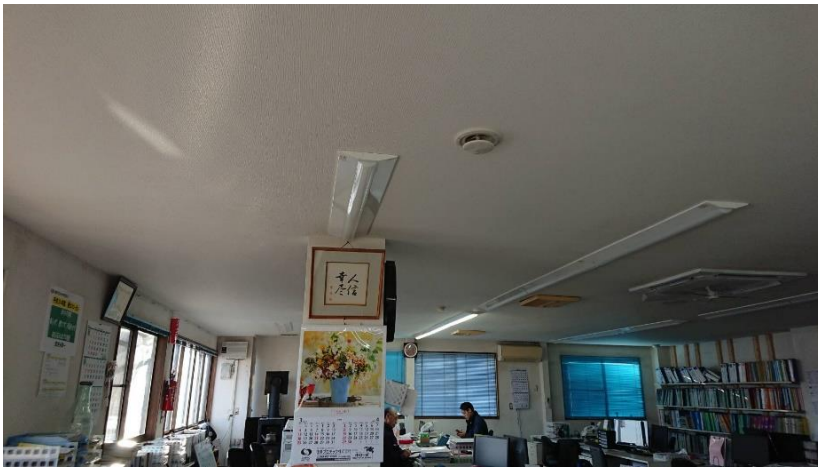


薪ストーブの熱を暖房利用
試運転中のストーブをつけっぱなしにしない(修理預かり品)



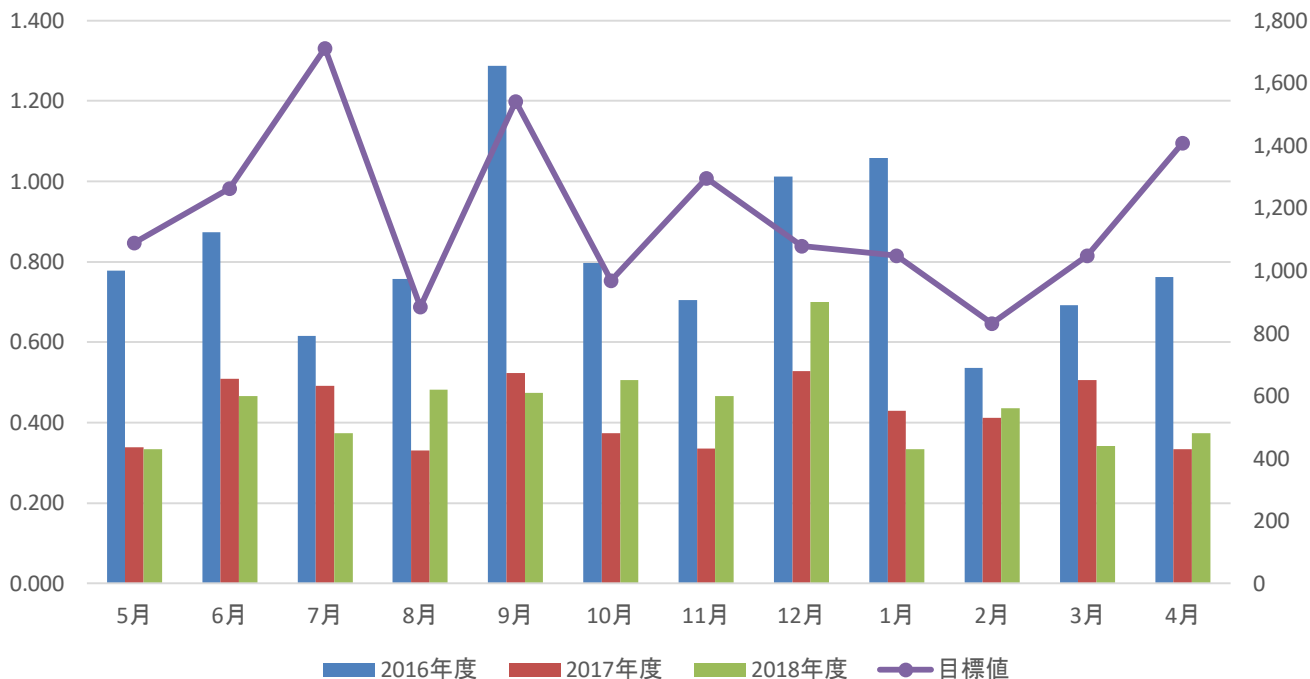
★評価「O」

燃料に関しては目標を達成できた。石油暖房機を撤去した効果が大きく、このまま継続したい。



★暖房熱利用による燃料消費削減
(サーキュレーターやダクトを使用して温風が循環するように工夫)

一般廃棄物の削減



ゴミ箱にOA用紙を捨てない(社外秘書類・古紙の分類)
 PCFAXの積極活用・再生紙の活用
 事務所レイアウト変更に伴う書類PDF化の推進
 新プリンター導入により印刷ミス削減
 ダンボール置場の整備



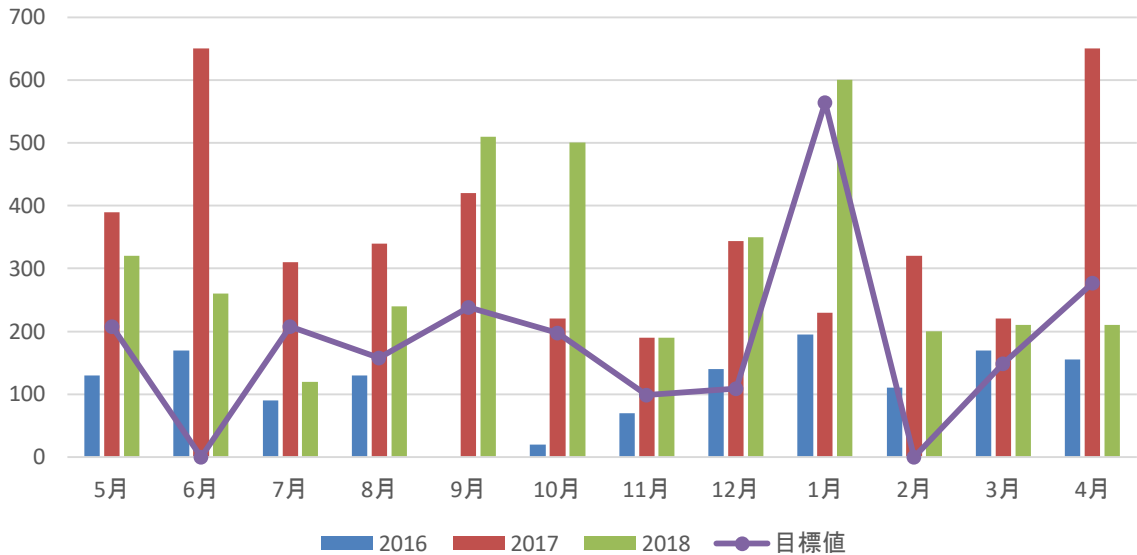
★評価「○」

目標を達成できた。再生紙やPCFAXの活用、書類のPDF化を推進している効果が出ている。また、スマートフォンから各資料を閲覧可能になりつつあるのでさらにペーパーレス化が期待できる。



★段ボール置場の設置

産業廃棄物の削減



わかりやすい在庫管理・ムダな購入をしない(棚番地作成)
ゴミ置き場の整理



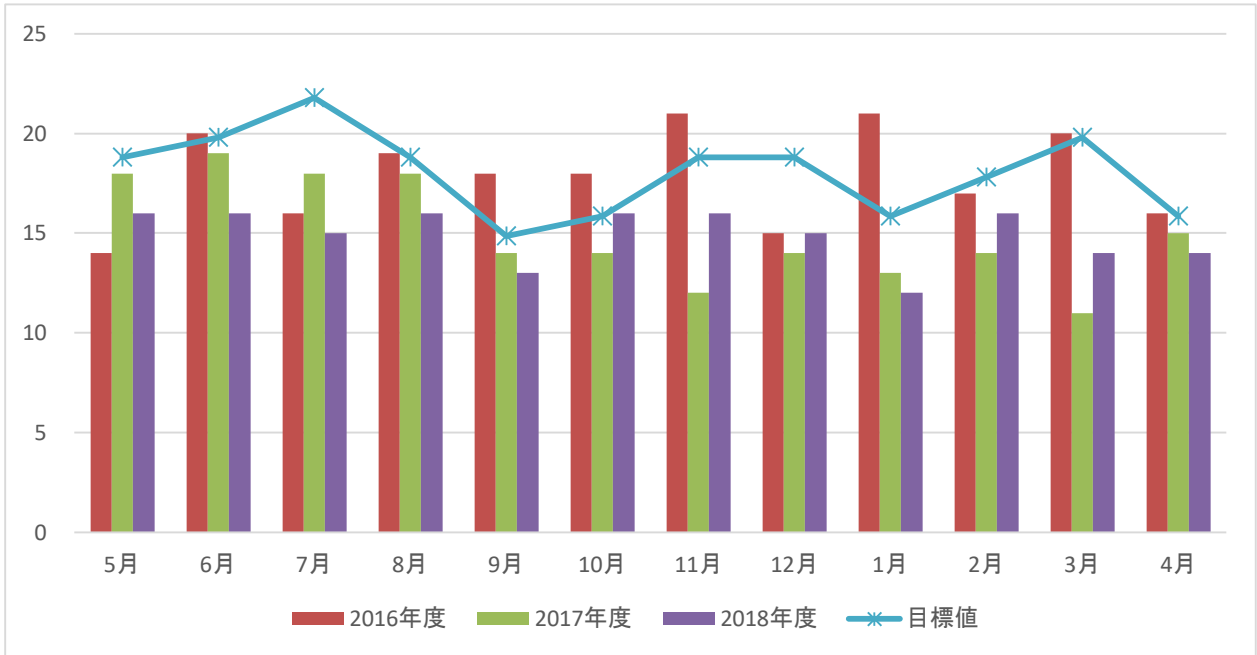
★評価「×」

目標達成できなかった。ここ数年の売り上げ増加から廃棄物の削減は非常に厳しく、単に削減するのではなく原単価で計算するような目標に変更が必要。廃棄物の分別はしっかり行われているので継続し、廃棄物置き場を利用しやすいように改善したい。

★定期的な倉庫整理



水の削減



軍手の洗濯回数減らす（一定量溜ったら洗濯するルール）
 井戸水の利用
 男子トイレにフラッシュバルブ取付



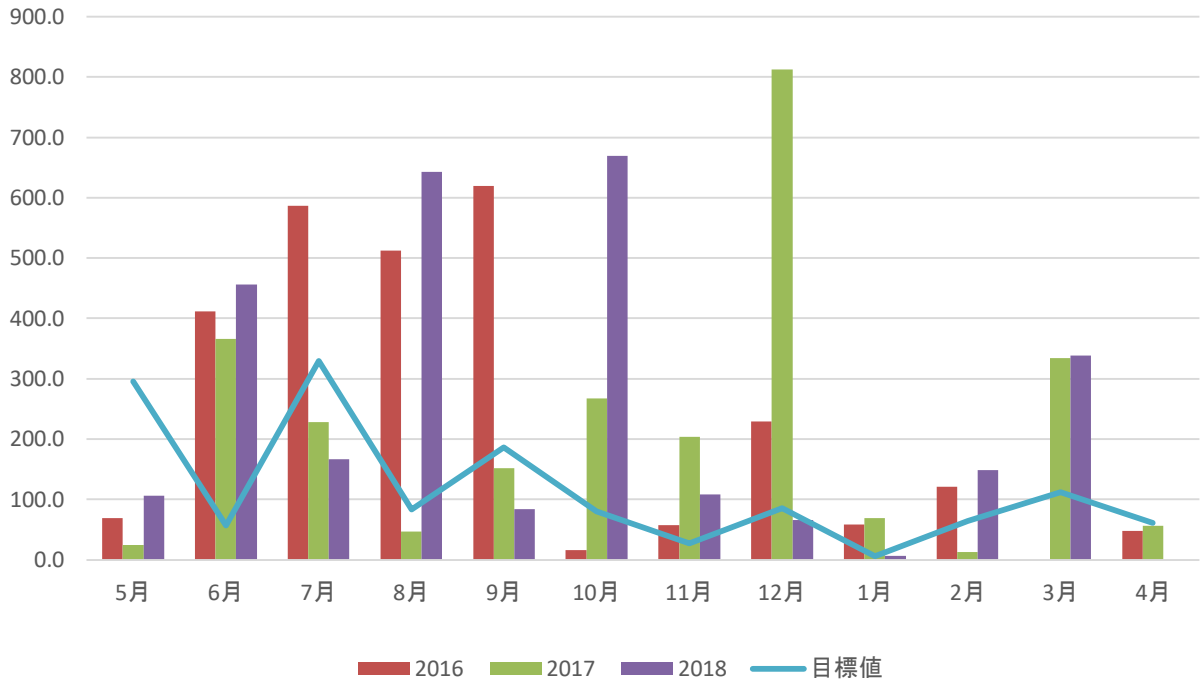
★評価「○」

目標を達成できた。洗濯回数を減らす等の節水を意識した結果が出ている。また、節水型のトイレを設置した効果も大きい。これ以上の削減は難しいが現状を維持していきたい。



★水まわりには節水を促すイラストや出水量を表記

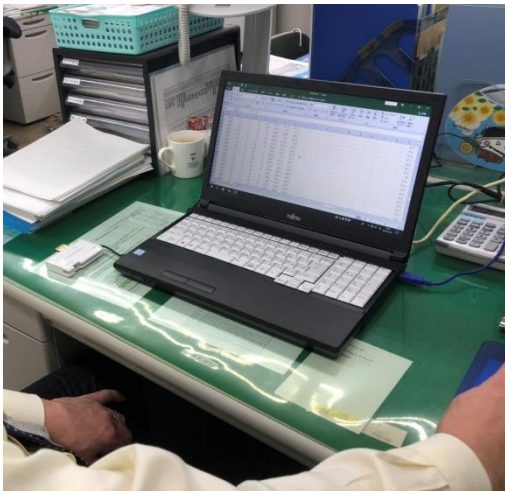
環境配慮工事



高効率機器への入替を積極的に提案する
お客様設備の省エネ化促進

★評価「×」

目標を達成できなかった。昨年度同様に工事が忙しく、提案には限界があった。工事と営業の業務分担や、集計方法の再検討も必要。



★エネルギー見える化

社員共育

★社内勉強会

敷地内の危険物や対応方法の確認と取組結果の報告を行いました。



★社員全員参加の事例交流会

若手もベテランも一緒に他部門の発表から学びます。短時間ながら各部門とも写真や動画を活用し伝わりやすい工夫を凝らして発表します。



社外向けセミナー

★フロン排出抑制法セミナー

改正フロン排出抑制法の内容と対策についてお客様向けセミナーを開催。



盛岡市と北上市にて開催

地域貢献

★地域でのワークショップ

子供会の夏休み行事として当社主催のワークショップを行いました。



★地域清掃活動

会社近隣の清掃活動を行いました。



当社の特徴を活かした環境活動①

★高効率エアコンへ入替 モジュールチラー更新



★ダクト工事



★フロン漏えい点検

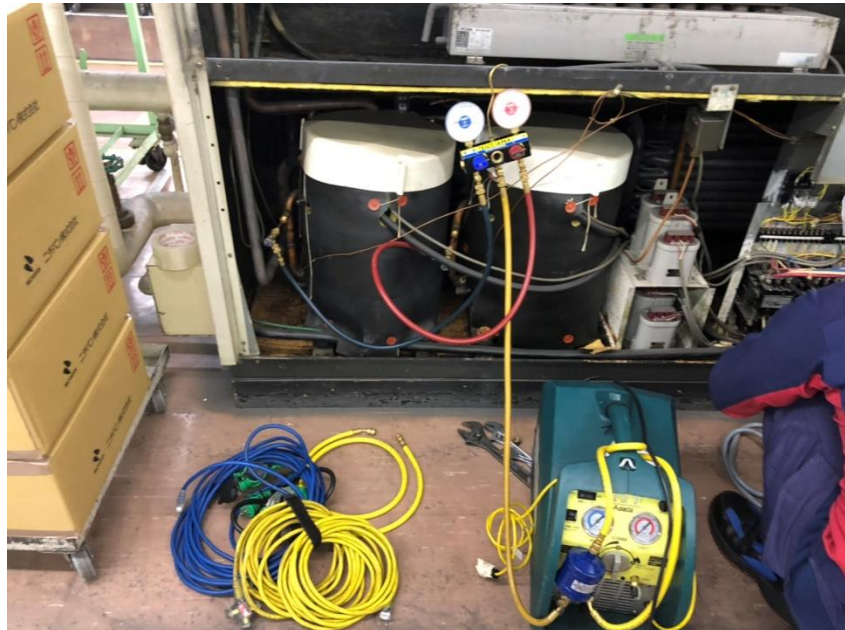


当社の特徴を活かした環境活動②

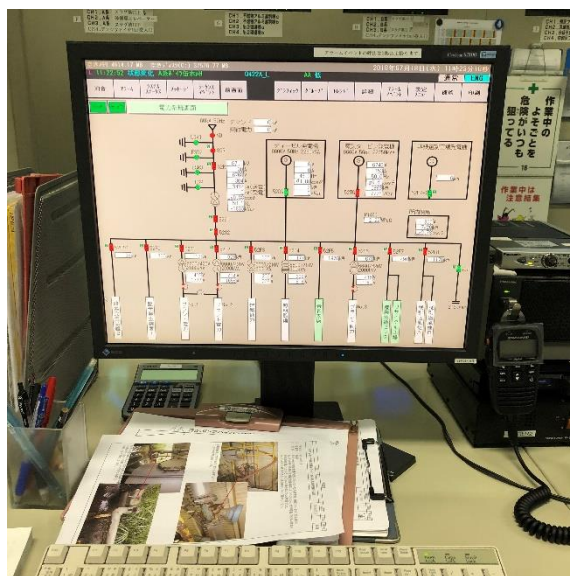
★吸収液 (臭化リチウム) 回収



★フロンガス回収



産業廃棄物処理場訪問



■ 視察内容

- ・廃棄物の仕分け及び処分方法について
- ・マニフェストの保存状況 など

排出した廃棄物がどのように処分されているのか工程ごとに説明していただき実際に確認することができました。

9 環境関連法規等の順守状況の確認 及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受けるフロン回収破壊法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

10 代表者による全体評価と 見直しの結果

| 見直し項目 | 評価 | 改善及び指示 |
|-------------------|---|--|
| 1環境方針 | 温暖化ガス排出量の削減と省エネルギー活動について日々意識的に取り組んでいる点を評価する。 | 社内の整理整頓に関してそれぞれの社員が取り組んでいけるように、継続的な呼びかけや強化月間の実施などで全社的な意識向上を目指してほしい。 |
| 2環境目標 | 原単位や計測対象の見直しなどは正をすることでより実態に合った目標設定を行っていた。 | 廃棄物の削減目標など、設定目標を改めて相談し取り組んでいってほしい。 |
| 3環境活動計画及び環境経営システム | 5S先進企業や処分場の見学を通して、委員全体で学びと知見を深めたことを評価する。 | 自社が先進企業として他社の見学を受け入れられるようなレベルまで到達してほしい。 |
| 4その他(情報公開に関して) | 環境報告書をさらに見やすく改善し、サイト掲載やSNSで外部発信していることを評価する。 | 昨年実施したような環境関連の取組発表アワードへの公募など積極的に行い、他社と切磋琢磨したり第三者のフィードバックをもらう場面を増やすことで自社の取組みをさらにレベルアップさせてほしい。 |
| 5全体評価 | 引き続き、顧客に対するセミナーの実施など情報発信ができています。高効率機器の提案も業務の中でも展開していけるのが設備業としての強みだと思うので、今後は会社年報・ホームページなども活用しつつ、周知と業務の両輪で環境活動を進めてほしい。 削減幅は無くなってきたものの、取組を続けるなかで単位の変更など着目する点も向上していると感じる。審査の際の指摘事項も一覧表にしてできるところから計画的に改善しようとしている姿勢も評価できる。昨年に比べ対策すべき内容が明確になっているようなので、出てきた課題に対しては確実に調査・改善をしPDCAサイクルを意識して回してほしい。 | |

上記のとおり指示します。2019年7月31日

代表者 村松 守